

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号  
**実用新案登録第3149801号**  
**(U3149801)**

(45) 発行日 平成21年4月16日 (2009. 4. 16)

(24) 登録日 平成21年3月25日 (2009. 3. 25)

(51) Int. Cl. F 1  
**A 4 7 K 11/06 (2006. 01)** A 4 7 K 11/06  
**B 6 O R 15/04 (2006. 01)** B 6 O R 15/04

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2008-9170 (U2008-9170)  
 (22) 出願日 平成20年12月26日 (2008. 12. 26)  
 (31) 優先権主張番号 2007148871  
 (32) 優先日 平成19年12月29日 (2007. 12. 29)  
 (33) 優先権主張国 ロシア (RU)

(73) 実用新案権者 509003586  
 アレクサンダー アレクサンドロヴィチ  
 コロトフ  
 Alexander Alexandro  
 vich Kolotov  
 ロシア国 サンクトペテルブルク ウリー  
 ツァ クルチャトヴァ 6-4-113  
 ul. Kurchatova 6-4-  
 113, 194223 St-Pete  
 rsburg, Russian Fed  
 eration

最終頁に続く

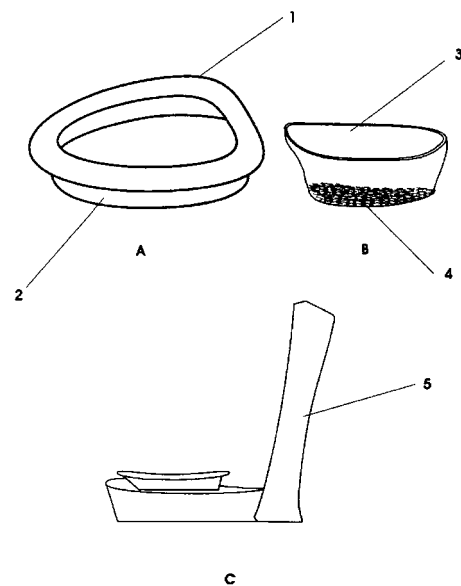
(54) 【考案の名称】 可搬式衛生モジュール

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】自動車のシート等に設置可能で、簡便に使用でき、かつ最適な衛生条件の維持を可能とする排泄物の貯蔵用器を備えた、可搬式衛生モジュールを提供する。

【解決手段】シートが配置された浅い容器2の形式のケースと、排泄物のための交換可能な貯蔵容器と3とを有しており、交換可能な貯蔵容器が、バッグの形式で形成されており、バッグの外側層が防水性ポリマ材料で形成されており、バッグの内側に、吸湿性(水分保持性)充填物を有する吸収材料の層4が設けられている。シートが配置されたケースは、浅いが幅広の容器の形式を有しており、自動車シート5への配置の便利さ及びモジュールの反転の防止のために小さな高さを有している。モジュールは付加的にチャイルドシートを装着することができる。

【選択図】 図1



**【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

可搬式衛生モジュールにおいて、シートが配置されたケースと、排泄物の収集のためのバッグの形式の貯蔵容器とを有しており、モジュールのケースが浅い容器の形式を有しており、バッグが、外部防水層を備えて形成されており、バッグの内側に吸湿性充填物の層が存在することを特徴とする、可搬式衛生モジュール。

**【請求項 2】**

貯蔵容器の外側層がポリマ材料から形成されている、請求項 1 記載の可搬式衛生モジュール。

**【請求項 3】**

モジュールに付加的にチャイルドシートが装着されている、請求項 1 記載の可搬式衛生モジュール。

**【考案の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本考案は、人間の生体要求の満足のために意図された装置、特に、作動のためにあらゆるシステム、すなわち給水、電源、排水、の接続又は使用を必要としない衛生装置に関する。

**【0002】**

本考案は、人間の衛生手順の実行のための個々の車両における適用が意図されている。

**【背景技術】****【0003】**

「可搬式衛生装置」(2007年3月10日に発行されたロシア特許第2294684号明細書)が示されている。この装置は、ポウルと外部環境カバーとから形成されたケースと、ケースに配置されたシートと、フラップカバーと、排泄物のための貯蔵容器とを有している。

**【0004】**

「独立した可搬式トイレット」(2004年3月20日に発行されたロシア特許第225702号明細書)が示されている。

**【0005】**

申告された利用可能なモデルへの、技術的観点から最も近いものは、自動車のための可搬式トイレットである([http://www.avto.ru/news/news\\_6442.html](http://www.avto.ru/news/news_6442.html))。このトイレットは、シートが配置されたケースと、排泄物を収集するためのパッケージと、吸収エレメントとを有する可搬式衛生モジュールを示している。吸収エレメント(材料)は、あらゆる表面及び容器の迅速かつ有効なクリーニングのために適用される。

**【考案の開示】****【考案が解決しようとする課題】****【0006】**

本考案の課題は、自動車輸送のための可搬式衛生モジュールの発展である。

**【課題を解決するための手段】****【0007】**

発展された考案の技術的結果は、排泄物を収集するためのバッグの内部に給湿フィルタが存在することにより、衛生モジュールの使用の簡便さ、及び最適な衛生条件の維持を提供する、設計の単純さである。

**【0008】**

可搬式衛生モジュールは、シートが配置された深くない容器の形式のケースと、排泄物のための交換可能なバッグとを有しており、バッグの外側層は、防水性ポリマ材料から形成されている。バッグの内部には、吸湿性充填剤の層が存在している。シートが配置されたケースは、浅いが、かなり幅広の容器の形式を有しており、自動車のシートに収容するのに便利でありかつモジュールの反転を防止するために小さな高さを有している。

10

20

30

40

50

## 【0009】

モジュールには、付加的にチャイルドシートが装着されることができる。

## 【考案を実施するための最良の形態】

## 【0010】

図1には、可搬式衛生モジュールの概略図が示されており、1はシート、2はモジュールの浅い容器、3は交換可能な貯蔵容器、4は吸収材料層、5は自動車シートである。

## 【0011】

可搬式衛生モジュールの適用は以下のように実施される。使用の前に、開放された交換可能な貯蔵容器3が浅いモジュール容器2に配置され、さらに衛生モジュールは自動車シート5に配置され、次いで生理学的要求のために衛生モジュールを使用することが可能である。さらに貯蔵容器3は締め付けられかつ使用される。

10

## 【図面の簡単な説明】

## 【0012】

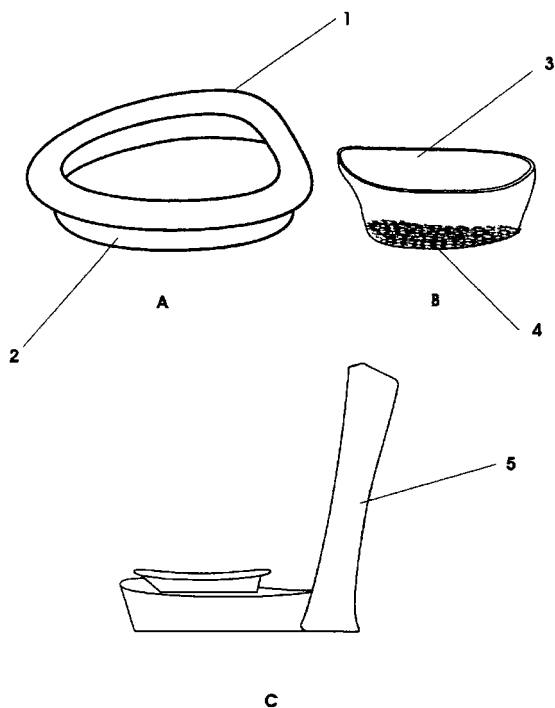
【図1】可搬式衛生モジュールの概略図。

## 【符号の説明】

## 【0013】

1 シート、 2 容器、 3 交換可能な貯蔵容器、 4 吸収材料層、 5 自動車シート

## 【図1】



【手続補正書】

【提出日】平成21年2月6日(2009.2.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

申告された利用可能なモデルへの、技術的観点から最も近いものは、自動車のための可搬式トイレットである(例えば、非特許文献1参照)。このトイレットは、シートが配置されたケースと、排泄物を収集するためのパッケージと、吸収エレメントとを有する可搬式衛生モジュールを示している。吸収エレメント(材料)は、あらゆる表面及び容器の迅速かつ有効なクリーニングのために適用される。

【非特許文献1】[http://www.avto.ru/news/news\\_6442.html](http://www.avto.ru/news/news_6442.html)

## フロントページの続き

(73)実用新案権者 509003601

エレナ ユーリイヴナ コロトヴァ

Elena Yurievna Kolotova

ロシア国 サンクトペテルブルク ウリーツァ クルチャトヴァ 6 - 4 - 114

ul. Kurchatova 6 - 4 - 114, 194223 St - Petersburg  
, Russian Federation

(74)代理人 100061815

弁理士 矢野 敏雄

(74)代理人 100094798

弁理士 山崎 利臣

(74)代理人 100099483

弁理士 久野 琢也

(74)代理人 100110593

弁理士 杉本 博司

(74)代理人 100128679

弁理士 星 公弘

(74)代理人 100135633

弁理士 二宮 浩康

(74)代理人 100114890

弁理士 アインゼル・フェリックス=ラインハルト

(72)考案者 アレクサンダー アレクサンドロヴィチ コロトフ

ロシア国 サンクトペテルブルク ウリーツァ クルチャトヴァ 6 - 4 - 113

(72)考案者 エレーナ ユーリイヴナ コロトヴァ

ロシア国 サンクトペテルブルク ウリーツァ クルチャトヴァ 6 - 4 - 114